業務放送システム

WL-K600

オープン価格

システムコントローラー
WK-KC600

入出力制御ユニット
WU-KR600

※ システムWL-K600はWK-KC600とWU-KR600のセット販売品番です。それぞれ単品での販売はできません。

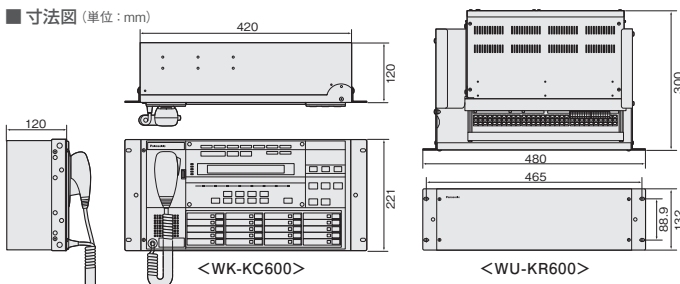
写真は業務放送システム（WL-K600）をラックに組み込んだものです。

業務放送に必要な「音源」「タイマー制御」を1台に集約。優れた拡張性を確保。

●システム・イン・ワン設計思想で、基本放送機能を集約。●入出力の動作状態が本体やパソコン画面ですぐに確認可能。●緊急地震速報※1などのメッセージを業務放送より優先して放送可能。またメッセージもあらかじめ内蔵。●年間設定が可能なプログラムコントロールタイマー機能を内蔵。 ●ラック形非常用放送設備の周辺ユニットを使用して、システムの拡張が可能。●地震や落雷などで停電した場合も、緊急で停電放送が可能（別途、非常電源ユニットやバッテリーが必要です）。●放送の設定・運用が、付属の支援ソフトにより実現。 ●15種類（合計15分）のオリジナルメッセージの登録・再生が可能。●ウェストミンスターの鐘などの音源を内蔵。

※1：緊急地震放送をおこなうためには、専用の緊急地震速報受信端末を準備していただく必要があります。

■ 寸法図（単位：mm）

<WK-KC600>　<WU-KR600>

■ 定格

品番		WL-K600	
		WK-KC600（システムコントローラー）	WU-KR600（入出力制御ユニット）
基本仕様	電源	DC24 V（WU-L62より供給）	DC24 V（WU-L62より供給）
	寸法	480 mm（幅）×221 mm（高さ）×120 mm（奥行）	480 mm（幅）×132 mm（高さ）×300 mm（奥行）
	質量	約4.8 kg	約8.2 kg
	仕上げ	AVライトグレー塗装	
音声部	音声入力	ライン1～4、BGM、チャイム	リモコンマイク×2、マルチリモコンマイク×1
	入力感度	マイク:－52 dBV、ライン4:－22 dBV、ライン1～3、BGM、チャイム：－2 dBV	0 dBV
	音声出力	1	—
	定格出力	0 dBV	—
	周波数特性	マイク系：100 Hz～10 kHz、ライン系：50 Hz～15 kHz	
	ひずみ率	1 %@1 kHz	
	内蔵音源	メッセージ　9種類　　コールサイン　5種類 *ユーザーのオリジナル音源でメッセージ15種類（合計15分）とコールサイン5種類（1分）が登録可能。	—
制御部	制御入力	—	外部制御入力×10(拡張制御ユニットの増設で最大160まで) ページング×1、BGM×1、チャイム起動×1
	制御出力	—	汎用出力×10（拡張制御ユニットの増設で最大150まで）
	リモコンI/F	—	リモコンマイク制御×10 マルチリモコンマイク　通信I／F×4
	その他	バックアップ放送中出力、PCカードスロット	停電起動入力、非常放送優先制御入力、EMG24Vブレイク出力
	パソコンI/F	USB（シリアル）／RS-232C	—
タイマー制御	スケジュール	週間／年間	—
	制御出力	放送起動、汎用出力制御、出力音量制御、電源制御	—
	時計精度	週差±0.7秒以下（平均25 ℃で使用） 月差±13秒（0 ℃～40 ℃で使用）	—
	時刻補正	親時計／時報音声／接点補正入力	—
操作パネル		業務放送スイッチ×10 メッセージスイッチ×10 （メッセージスイッチは設定により業務放送スイッチに変更できます。増設用操作ユニットを増設することで合計340スイッチまで増設可能）	—
		液晶（英数カナ文字表示、40文字×2行）、緊急放送SW×3、音量調整×4、個別優先放送SW、コールサイン×2	—
スピーカー出力		—	10回線（各N、R、C）（増設用出力制御ユニットの増設で330回線まで）

●リニューアルの際のご注意
既存システムの種類により、電源系統（AC100 V）の系統数やスピーカーの結線方法が異なる場合があります。既存システムを十分ご確認の上、システム構成を決定することをおすすめします。

運用支援ソフト画面（WL-K600に同梱）

●プログラムコントローラー（タイマー）のスケジュール作成
年間スケジュールの設定が可能です。急なスケジュール変更にも対応できます。
●放送状態モニター
放送状態やプログラムコントローラー（タイマー）の実行状態をグラフィカルにわかりやすく表示します。
※パソコン動作環境について
運用支援ソフトを動作させるには以下の仕様を満足するパソコンが必要です。
- OS
  Microsoft® Windows® XP Professional SP3 日本語版
  Microsoft® Windows Vista® Business SP1（32ビット）またはHome Premium SP1（32ビット）日本語版
- コンピューター
  IBM PC／AT互換機
- CPU
  動作周波数1.0 GHz以上の32ビット（x86）プロセッサー
- メモリー
  1 GB以上（Windows Vista）、512 MB以上（Windows XP）
- ハードディスク容量
  本ソフトウェア用に約100 MB必要
- CD-ROMドライブ
  本ソフトウェアおよび本体接続用専用ドライバーのインストール時に必要

※ Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

■ 動作確認済みSDメモリーカード／PCカードアダプター　（2011年10月現在）

種別	メーカー名	品番	容量
PCカードアダプター	パナソニック	BN-SDMAAP3（生産完了）	
SDメモリーカード	パナソニック	RP-SDL02GJ1K	2GB
	SanDisk製	SDSDB-2048-J95	2GB
	TOSHIBA製	SD-E002GR	2GB

種別	メーカー名	品番	容量	PCカードアダプター			
				PCC-CF	GH-CFAD1	TSOMCF2PC	ADR-XMSMP3
CFカード	SanDisk製	SDCFH-002G-J61A	2GB	○	○	○	—

●システムコントローラー（WK-KC600）にPCカードスロットを内蔵しています。●PCカードアダプター：PCC-CF（株式会社アイ・オー・データ製）、GH-CFAD1（株式会社グリーンハウス製）、TSOMCF2PC（トランセンドジャパン株式会社製）、ADR-XMSMP3（サンワサプライ製）●SDXC、SDHC規格のSDカードは使用不可です。
●最新のSDメモリーカード対応表は当社ホームページ（http://panasonic.biz/it/sound/media/sd.pdf）をご覧ください。

この紙面掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

■ システム構成

■システムでの最大仕様

項目	仕様
局数	340局
スピーカー回線数	330回線
多元放送	32入力×8出力または 8入力×32出力（4入力×4出力／1台で最大16台）
マルチリモコン	8台
リモコンマイク	6台（優先順位はすべて同位）
業務放送の優先順位	第16位まで設定可能
外部制御入力	10
拡張外部制御入力	140
汎用出力(本体)	10
拡張汎用出力	140
状態出力	最大20種類（非常放送中／マイク放送中／機器異常等）
緊急・業務メッセージ	9種類内蔵（その他オリジナルメッセージ15種類:合計900秒）
コールサイン	5種類内蔵（その他オリジナルコールサイン5種類:合計60秒）

内蔵音源一覧

メッセージ		
システムコントローラー液晶画面表示	音源の内容	再生時間
ウエストミンスター	ウェストミンスターの鐘	26秒
イカクオン	威嚇音	8秒
ショウエネメッセージ	省エネ放送（女声） 「<♪上り4音>みなさまにお願いいたします。不要な照明は消して、省エネにご協力ください。」	15秒
キンエンメッセージ	禁煙放送（女声） 「<♪サイン音>館内は所定の場所を除き、終日禁煙となっております。おタバコは所定の喫煙場所をご利用ください。」	14秒
ジシンソクホウ1	緊急地震速報　発令時（男声） 「<♪サイン音>緊急地震速報！強い揺れがきます！」	9秒
ジシンソクホウ2	緊急地震速報　発令時（女声） 「<♪サイン音>緊急地震速報！強い揺れがきます！」	9秒
ジシンメッセージ	地震発生放送（女声） 「<♪サイン音>ただいま地震が発生しました。落ち着いて身の安全を確保してください。」	10秒
ジシンゴホウ	緊急地震速報　誤報案内（女声） 「さきほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください」	6秒
ジシンクンレン	緊急地震速報　訓練用（女声） 「ただいまより緊急地震速報テストを始めます。(2回)<♪サイン音>緊急地震速報！強い揺れがきます！」	20秒

コールサイン		
システムコントローラー液晶画面表示	音源の内容	再生時間
ヒョウジュン1	上り4音	5秒
ヒョウジュン2	下り4音	5秒
ヒョウジュン3	コールサイン1	6秒
ヒョウジュン4	コールサイン2	7秒
ヒョウジュン5	コールサイン3	5秒

ユーザーは任意のオリジナル音源を、メッセージでは最大15個／合計900秒、コールサインでは最大5個／合計60秒、登録できます。

●内蔵音源は、ホームページで試聴できます（http://panasonic.biz/it/sound/gyoumu/wl-k600/movie.html＜運用シミュレーション＞）。

緊急地震放送に関する免責について

本システムは地震の被害を防ぐものではありません。

● 情報を発表してから主要動が到達するまでの時間により、情報が間に合わないことがあります。
　○ごく短時間で予測された震度予想のため、震度の誤差を伴うなど限界があります。 ○事故、機器の故障また落雷などにより、誤報が発信される可能性があります。

● 緊急地震速報の情報を利用した緊急放送については、用途ごとに多様な方法が想定されます。
　○緊急地震放送を利用した運用については、各事業者の責任において利用頂きますようお願いします。 ○地震で発生した被害に対する保障はいたしません。

● 事業所、施設など閉鎖された建造物において、緊急地震放送システムを有効に活用するためには、緊急地震速報を見聞きした際に、適切に行動できるように「訓練」しておく必要があります。

この紙面掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。